

ミニデイ【おとこの台所 桜新町だより】

発行責任者 桜新町広報：石井利男、岡元正史

● 入会と退会。

☆ 村野次郎様 が2月に入会されました。

☆ 草木登様、福本一夫様、山田雄吉様 が1月末をもって退会されました。これからもご健康でお過ごしください。



● 日本の国花《Floral Emblem》は《桜》か《菊》か。
結論から言うと「桜も菊も国花であり、国花ではない」。

● 国花は、国民に最も愛され、国の象徴となる植物。

花だけに限らず、樹木、草、農作物など国によって多種多様で、一つだけに限らず複数ある国もあります。また法律で定める国と国民の思い《伝統や慣習》から決まった国があり、世界では後者が多いようです。

日本は《国花》を定めた法律はなく後者です。それが冒頭の国民の結論です。

● イギリスは、①連合王国 (United Kingdom of The Great Britain and Northern Ireland) はバラ、②イングランドはチューダー・ローズ、③スコットランドはアザミ、④ウェールズはラップスイセンとリーキ、⑤北アイルランドはシャムロックと、国内の政治と同様に複雑です。EUのオーストリアはエーデルワイス（和名は西洋薄雪草）。カナダは国旗にもなっているサトウカエデ。隣国の中華民国（台湾）はウメ。香港はバウヒニヤ。マカオはハス。中国人民共和国（中国）は共産党らしく国花はなし。各国いろいろです。

● 戦争渦中のウクライナとロシアの国花はともにヒマワリ。イタリア映画「ひまわり」は旧ソビエト連邦時代のウクライナで撮影されました。ウクライナの青と黄の国旗。上半分は青空、下半分の黄色にはふたつの説があって、



① 実った小麦畑の説と、② ひまわりの花の説。

● 日本の桜。奈良時代に中国から渡来し、記録に初めて登場するのは古事記です。

平安時代には貴族が桜のお花見。江戸時代になると庶民にも広がりました。

● 日本の菊。平安時代始めに中国から渡来。鎌倉時代、後鳥羽上皇が菊を大いに好み、自らの《印》にしました。その後、御深草天皇、亀山天皇、御宇多天皇が菊の印を継承し、やがて《十六葉八重表菊》が皇室の紋として定着しました。

● 優勝G1の祭典、春の桜花賞と秋の菊花賞。そう言えば、皐月賞もあったな！

2月の定例会 参加者は、1日（木）16名、9日（金）9名でした。

3月の定例会 7日（木）、8日（金）です。